

一般社団法人日本カバディ協会 登録選手規程

第1章 総則

(目的)

第1条 一般社団法人日本カバディ協会（以下「本協会」という。）は、カバディ競技（以下「競技」という。）の健全な普及・発展を図るため、競技会に参加する競技者の登録をすることを目的とする。

(競技精神)

- 第2条 競技会に参加する選手は、競技を愛し、フェアプレー精神とマナーを尊重して競技の向上と発展に自ら貢献し、自己の最善を尽くさなければならない。
- 2 競技会に参加するに当たっては、競技会主催者が規定する参加規約に従わなければならない。
 - 3 ドーピングについては、いかなる理由においても認めない。

第2章 登録

(個人登録)

第3条 本協会が主催又は公認した競技会に出場する選手は、本協会に個人で登録（以下「個人登録」という。）をしなければならない（以下、個人登録した選手を「登録選手」という。）。

(団体登録)

- 第4条 登録選手が所属する事業所、クラブ、サークル等の5人以上の団体は、本協会に登録（以下「団体登録」という。）することができる（以下、団体登録した団体を「登録団体」という。）。
- 2 登録団体に所属する登録選手が希望した場合、当該登録団体名を所属（本協会登録選手規程細則第5条）とすることができる。

(登録手続・登録期間)

- 第5条 登録の受付期間は、年間を通じて受付ける。ただし、第3条第1項に規定する大会に参加する選手は、参加大会前に個人登録する必要がある。
- 2 登録手続は、当協会が定める項目を規定の手続きに従い申し出る。
 - 3 登録資格の期間は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間とする。また、年度の途中で登録した場合でも登録料の減額はしない。
 - 4 その余の手続については、本規程細則に定める。

第3章 賞金等の受領

(賞金等の受領)

第6条 登録選手が出場した競技会において、賞金又は出場報酬（以下「賞金等」と略称する。）が主催者から付与されたときは、賞金等を当該登録選手が受領することができる。ただし、本協会の選考又は推薦により日本代表等として出場した競技会又は海外リーグの試合はこの限りではない。

第4章 肖像権

(肖像権)

第7条 登録選手の肖像、画像、動画、イラスト、名前、通称等（以下「肖像等」という。）に関する権利は、原則として、当該登録選手自身に帰属する。ただし、本協会は、代表ユニフォームを着用した登録選手の肖像等（以下「代表選手肖像等」という。）について、使用及び第三者への使用許可ができるものとする。

- 2 本協会は、前項ただし書きの場合を除いて、当該登録選手の事前の承諾を得て、登録選手の肖像等を使用することができる。
- 3 本協会が、本条第1項ただし書きに基づき、代表選手肖像等を第三者に使用許可し、対価が発生した場合には、その対価は本協会に属するものとする。

第5章 商業行為等

(商業行為等)

第8条 登録選手は自らの責任において、次の各号の商業行為その他これに関連する行為を行うことができる。ただし、これらの実施に当たっては、登録選手自身及び本協会の名誉を傷つけ又はカバディ競技の健全な普及・発展を妨げる行為を行ってはならない。

- (1) 競技用衣服若しくは用具に対して、本協会がスポンサーとの間で締結した契約に反しない範囲で、登録選手が自ら募ったスポンサー等の社名、商標、社章あるいは所属クラブ名以外の広告物を付して競技をすること。
 - (2) 競技の普及・発展を目的とした講習会を自ら開催すること、及び同じ目的で他者が主催する講習会に協力すること。
 - (3) 映画、演劇、放送、雑誌、新聞等の座談会、その他これに準ずる行為に出演し、又は参加すること。
- 2 登録選手に対しては、本協会が契約締結した広告その他の商業行為に協力を求められることがある。協力に対する報酬はその都度協議して決める。
 - 3 登録選手は、第1項各号及びこれ以外の商業行為の実施に当たって、その内容に疑義があるときは、事前に本協会の承認を受け、又は助言を得るものとする。

第6章 処分

第9条 本規程、本規程細則、本協会倫理規程その他の本協会の規程に違反した登録選手又は登録団体の処分については、倫理規程による。

第7章 雑則

(指導)

第10条 本協会、支部及び登録団体は、登録選手に本規程を周知徹底させるとともに本規程を遵守するよう指導しなければならない。

(適用)

第11条 本規程の運用に関して疑義が生じた場合は、理事会の議を経て決定する。

(雑則)

第12条 本規程は、令和4年度以降の登録について適用する。

附 則

本規程は、2022年4月1日から施行する。